

わが国が独立のよりを保ちながら生活水準の向上と近代化を絶えず押し進めてゆくには、加工貿易を伸長させるよりほかに道がないと断定されてから、各国に駐在する日本大使館員の活動に対し、国民の期待する内容は大きく変化しているのではないかと思われる。

戦後アジア・アフリカの広大な地域には幾多の独立国が誕生し、いずれも強烈な民族意識を燃やしながらか国土開発を促進し、工場の誘致を計るべく努力している。飛行機の発達とラジオ・テレビの普及は過去における隔絶の地勢的障害を打破し、この傾向にますます拍車をかけている。

かつて植民地であった地域は、急峻な高山岳地帯をのぞけば、概して動植物が繁茂ばっこし過ぎて人類の生存発展が容易でなかったか、それとも正反対に、いかなる生物も発生育成がすこぶる困難な不毛の土地といったような激しい自然環境のいずれかに属するようである。前者は高温多湿に過ぎるが、後者は年中乾燥しきった大気の中にあり、地上では飲料水にこと欠いている。しかも両者とも過去の長い歴史のある時代には、精神文化や物質的繁栄を誇った金字塔を持っていることは注目に値する。

私が4年半をすごしたカイロや中近東地域は後者に属する土地がらで、余り古い時代に遡らなくとも、今日の欧州文明の栄える少し以前に砂漠の国サウジアラビアの中部に発した宗教的野火がきわめて短年月の間に東は中国、インドの国境に広がり、西は北阿海岸を伝わって欧州大陸に渡り、フランス国境にまで燃え上って、アラブ大帝국을築き、未曾有の科学知識を総合発展させ、これを欧州人に引きついで実蹟を残している。

今日近代化されたという姿を眼にうつせば、電気・石油を動力源とした高度の運輸通信機関が各所に活動し、大小粗糲の機械が生活の中にまで浸透し、化学新製品がつつぎと市場に現われ、組織され秩序を保った高い密度の人口が大都市を形成する状態であると仮定する大胆さを許して貰うならば、中近東の今日の姿は確かに後進国であり、近代化するには抜きがたいと思われる素因を幾多内蔵していることは、この地域を旅するすべての人が看取するところである。それにもかかわらず独立をからとったこの地域の人々は、未来に大きな夢を托して近代化への夢を実現すべく努力を払っている。

社交の場で親愛の情をこめてこんなことをよく聞かされた。日本はわずか百年の間に欧州文明をすっかり吸収した。ことに大戦後における経済復興は驚異そのものである。同じアジア人であり有色人種の日本が、過剰な人口を抱えながら乏しい資源と困苦に打ち勝って、今日の繁栄をもたらした事実に対しては、心から敬意と絶賛を惜しまない。オリンピックの場合における数々の成功は、実力に余裕のあることを示している。AAの新興国は日本から援助を受けることについては、欧米人に対するようなきびの念はなんら感じないのに、日本は一向にわれ

われに援助の手を差しよせようとせず、金儲けに専心し、欧州の仲間入りをすることに精一杯のように見える。われわれは貴重と考えているのに、日本人は輕侮の眼で見返えずとしか思えない態度をよくとる。日本の上層部には欧米語を巧みに使う人は多いが、アラビア語で話をしてくれる人にはめぐり合わない。せっかく、みやげ物や訪問記念にと日本から買った時計、万年筆、電気器具、写真機に至るまで、われわれの故郷では使い物にならないことを知らされた(注:高温、乾燥、光量過多、じんあい、電圧等に対する配慮の不足による故障と思われる。修理、部品の補給等アフター・ケアーの欠如はかかる批難をいっそう起こし勝ちである)。われわれは国内の文盲を少なくし、内政を整え、経済開発を推進するのに全力をあげているが、むずかしい日本語まで修得する余裕はない。児童分たる日本人が、まずアラビア語を習い、慣習を理解し、大衆がただちに利用し参考になる書籍雑誌、機械器具、菓品の用法などを示す広告の類でも、アラビア語の説明を必ず付加して発行するくらいの親切心と関心を抱いて欲しい。われわれでできる援助は惜みなく払う積りであるがと……。

わが国がこの地方から大量に輸入している特産資料といえば原油や綿花などの農産物であろうが、輸出可能な製品は無数にある。日本のせまい平地でせめて必要な農産物だけでもすべてを自給する方針をゆるめて、太陽に恵まれたこの広大な土地に、豊富な経験を生かし、旺盛な研究心を働かし、この地の人を何かと指導すれば、輸出品も生れずなわち外貨の流通が起り、欲しい日本製品も末永く渡りこよようにとのなげく話も生れる。

一億の民がわが国の数十倍の広さを持つ大地に十数か国の独立国家を形成し、昔の繁栄を思い出し、日本の援助を希求しているのに、日本の大衆は余りに縁なき衆生と無関心に過ぎはしないだろうか？

放送局の建設とトランジスターラジオの購入頒布で、政治家は自分の意図を、各所に散らす遊牧の民や孤立しているオアシスの群集にも伝える目途はついたが、産業開発にとまらぬ砂漠地帯とおおる運搬機関には適切なものが見当たらない。モノレール等は候補になり得ないものだろうか？ 海岸に港を建設しようにも飲料水や食料を確保する心配から始めねばならない。豊富な太陽光線や地下の原油、良質の石灰岩に塩は至るところにあふれている。オートメーションの導入と原子力発電の活用で、この地の人達の夢を近き将来に現実に移すことはできないものだろうか？

未開発国に置かれている日本大使館には、少なくとも農林、建設、運輸通信等のエキスパートが常駐し、相互の資料や情報の交換、専門家の交流育成等の事務をつかさどり、相互理解を深める程度の手段は講ずべきであると思うが、さて実施となれば簡単には解決されそうにない問題が多々にあることに気づくのである。いわんや商業ベースに乗る事業の進出には、いっそうの検討と応分の犠牲を覚悟せねばと思う次第である。

\* 正会員 前在アラブ連合共和国大使館参事官